



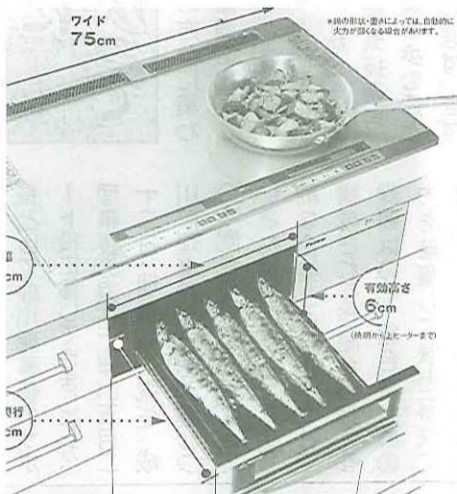
パワー

(電力・動力)

2007
夏

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙53号

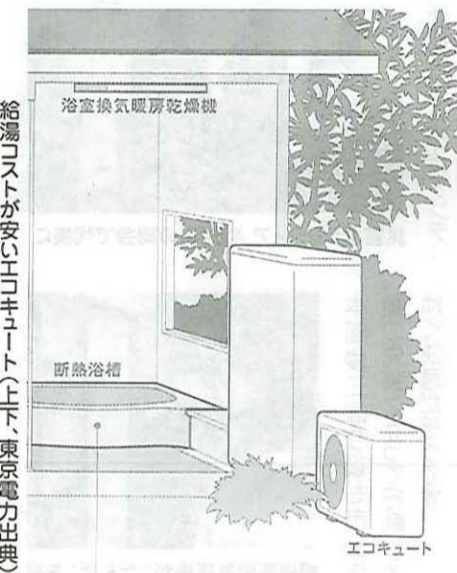
発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ **ホンマ電機** 検索
発行責任者 本間俊三



普及率が急上昇中のIHクッキングヒーター

エコキュート(電気給湯器)
これはお風呂や台所で使うお湯を、深夜電力で沸かし蓄えておくタンクです。従来の電気温水器と大きく異なる点は、ヒーターでお湯を沸かすのではなく、ポンプで大気中の熱を汲み上げてお湯を沸かす点です。

IHクッキングヒーター
これを初めて見る方で、不思議と思わない方が果たしているのでしょうか。これがヒーターといえるのでしょうか。鍋を置く台はここを触つても熱くないのに、鍋だけが熱くなる。なぜ? 「鍋だけ熱くなる」だから安全であり清潔といえるのでしようが、その原理を言葉で説明するのは難しい。実物は東京電力相模原支社に展示・実演しているのでもいつでも体感することが出来ます。



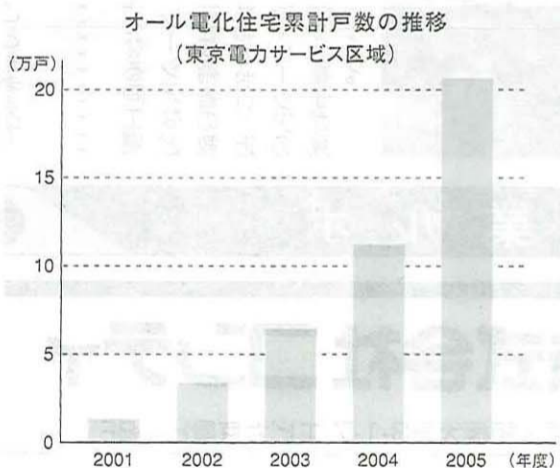
給湯ユニットが安いエコキュート(上下)東京電力出典

全国的に見て、普及は関西から始まりました。それは阪神淡路大震災の教訓によるともいわれますが、ガスや灯油と比べて安全性が高く評価されたことで、復旧する過程で、新築時の方が既築より導入し易いという面もあったと思います。
数年遅れで始まった関東地域

普及の変化
如何に優れた商品でも、普及までには時間がかかります。特に、IHクッキングヒーターもエコキュートも導入時に高額な費用がかかることが、普及の障害と考えられていました。

このことで、熱効率が飛躍的に向上し、ヒーターに比べて熱効率が3倍以上といわれています。その上、安い深夜電力を利用するので、一般家庭でお風呂と台所のお湯にかかるコストは1ヶ月千円程度になります。

オール電化普及の推移 関東地域



資料・東京電力統計データ

電気工事業界も
弊社が所属する神奈川県電気工事業者組合は、電気工事業者を営む中小の会社や個人で構成され、電気工事業者の経営改善や経営の発展・合理化などを目的に組織されています。
今後ますます普及するであろうオール電化住宅需要に、われわれ電気工事業者が如何に対応できるか、態勢を整えられるかが今、問われています。

神奈川県内での取り組み
東京電力神奈川支店と県電気工事業者組合の連携による「電活工房」が、平成十六年に発足しました。
目的はオール電化普及への対応取り組みを進める工事店に、東京電力が積極的に支援をするというものです。
神奈川県電気工事業者組合では十八地区本部があり、その中で相模原地区本部はこの度、「電活工房」の実績で3位銅賞を獲得しました。

何れもあれ体感
東京電力相模原支社に出かけられて、「自身で体感されては如何でしょうか?」
初めての方は、まるで手品を見ていたような驚きを体験されるでしょう。しかしIHクッキングヒーターは、れっきとした電気理論・事象に基づいた調理器なのです。お仲間やグループで数人集まれば、東京電力のスタッフが親切、丁寧に対応してくれます。

統一地方選挙終る
統一地方選挙の前半戦、神奈川県議会議員選挙に、弊社代表本間としろうが地元や電気工事業界・山形県人会などの強い後援を得て出馬しました。結果は一万七千七百五十七票獲得しましたが、八百四十二票の差で敗北に終わりました。
自民党公認ではありませんでしたが、選挙戦の間中は自民党への風当たりが強く、相模原市の選挙区では三人の自民党公認候補者がそろって落選しました。
また本間候補の場合、新人とは言え年齢が六十二歳であったことも、浮動票や無党派層の心を掴みきれなかったものと思われれます。逆に、弱点である年齢を全面に押し出し、「頑張る六十代・本間としろう」と訴えれば、同年代層には共感を得たかも知れません。
とは言っても、結果が出た以上、今後は電気技術者として、また企業経営者として従来どおりの道をまい進することとなります。なお、これまで取り組んできた町田駅南口の環境浄化活動や災害ボランティア、あるいは森や緑を守り育てる活動は、支援者の方々にも呼びかけて今後も続けてゆくこととします。
六十歳を越えてもまだまだ意欲満々の弊社代表ではありません。



④9 近況報告



個人演説会



遊説へ



出陣式

統一地方選挙終る

元の道に 戻って

弊社代表が地域の方々から請われて相模原市議会議員に出馬したのは今から十二年前、相模原市議会議員として八年、県議選に備えた活動が四年間でした。この度の決着を期に、元の電気技術者、企業家として元の道を歩むことになって二ヶ月になります。まずは近況をお知らせしましょう。

ホンマ電機代表として

殆どの実務は、常務が中心となって運営をしてきました。社長は毎朝の朝礼に顔を出し、その日の業務の概要を把握して最小必要限度の指示を出すのみでした。昨今は社員とのコミュニケーションにも配慮、健康や悩みなども気にかけて、「お客様と社員の育成を大切に」がモットーとなりました。

相模原電気工事協同組合 理事長

これまで、同組合副理事

本間俊三今後の活動

相模原災害ボランティアネットワーク代表復帰

昨年二年間、代表の座を降りていましたが、これを期に復帰することとなりました。代表就任の挨拶では「市民と行政から頼りにされる災害ボランティアネットワークを構築しよう」と呼びかけました。

最初の大きな事業は、六月二十三日(土)津久井地域の災害復旧支援の観点から、津久井地域をマイクロバスで視察し、地元の方々と意見交換、交流を行います。また六月十九・二十日は

JR町田駅南口「たんぼ」環境浄化活動

四月二十日、「たんぼ」で発生した発砲殺人事件は、まさに当地域の真ん中で発生しました。不法風俗営業で資金を得ていた組員同士の、トラブルが原因といわれています。この地域から売春営業を根絶し、彼らの資金源を絶つことが、安心安全な街作りには欠かせません。そのためにも市民活動による協力が必要と、警察、相模原市地域住民の一致した考えです。

後援会から社会貢献活動 団体に

本間俊三は今後も市民活動の先頭に立って行動してゆく決意です。



災害ボランティア 4月4日の総会で代表に



相模原警察署長が「たんぼ」を視察

BUSINESS フィールド

自動車部品のグローバルサプライヤーを目指す大栄株式会社は、この度、藤沢市辻堂神台に合成樹脂本部となる三〇〇平方メートルの工場を新設しました。この地は藤沢市が主導して進める土地区画整理事業地で、平成十六年五月に都市再生緊急整備地域として位置づけられました。その位置づけは「JR辻堂駅北口帯で通称「湘南C-X」シークロス」と呼ばれています。式典には藤沢市副市長始め、県商工部の幹部からも多数出席。

大栄株式会社 工場新設 五月十六日 竣工お披露目

元はといえば平成十四年十一月、関東特殊製鋼(株)の全面撤退を受け、藤沢市・国・神奈川県・地元住民など様々な方々の協力のもと、この大規模工場跡地の土地転換や機能更新が図られてきました。大栄株式会社様は先見性と政治力によってこの地を取得され、この度の工場新設移転の運びとなりました。

当社は施工業者として招かれ、式典において感謝状を賜りました。電気設備は六三三KV Aの受電容量を持ち、この八〇割が樹脂成形機と周辺機器の動力用になります。



新工場での本間社長



新工場に設置された機械

● 企業ルポ ● お客様紹介 ⑤2

株式会社コンティ

本社 相模原市相模大野3-1-7 エピカ京屋ビル8F



代表取締役社長
小谷 圭一氏

本社 TEL 042-747-5550
FAX 042-747-5508

支店 町田支店 川崎支店
西東京事業所 湘南事業所

株式会社コンティ

- ・ 設立 平成3年4月17日
- ・ 資本金 1千万円
- ・ 代表取締役社長 小谷 圭一氏
- ・ 年間売上高 9億円
- ・ 事業所数 4ヶ所
- ・ 従業員数 17名(スタッフ12名)
- ・ 事業内容 ビルメンテナンス業(清掃・設備保守・環境衛生)、マンション管理業(分譲・賃貸)、警備業、一般建設業(大規模改修工事・営繕工事全般)

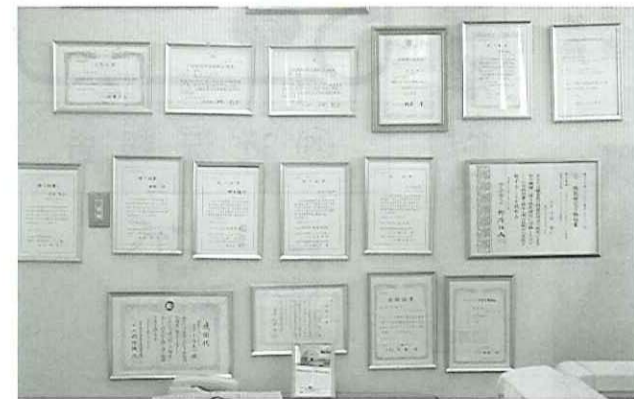
同業者の売上高が相模原市第2位のコンティ、目下第1位を目指してはく進中です。社名の由来は快適な街づくりに貢献するとして「COMfortable ciTY」より命名。「生物がその生命を維持していく生態システムをホメオスタシスといい、建物も生き物でありホメオスタシスが必要で日頃の管理が寿命を決定する。当社は建物全ての

維持管理を行う」との理念を掲げ、活力ある事業を伸展させています。創業の動機は約20名の町田、大野地区の企業代表者で地主でもある人達が、各々の会社の管理をする目的も含めて資金を出資し設立されました。スタートメンバーは足立邦夫会長、小谷圭一社長、岩崎正取締役、足立旬一監査役の4名です。設立より16年を経て同社の業容は拡大の一途を辿っています。ビル保守管理に始まり、平成13年には一般建設業の認可、平成18年にマンション管理業、平成19年に警備業(需要多い)などの認可を次々に取得。もとは地元中心の事業だったものが、今や関東地域一円に及び、法人顧客数は約百社。その主な顧客は老人ホームやスーパー・コンビニエンスストア・回転寿司などで、緊急性を要する事業所が多い。この業種は一般的に起業しやす

く同業者の競合は多いが、建物の総合管理が可能な企業は少ない。「建物の管理業務は絶対的な信頼なしには依頼されません」と笹津海次専務。同社の営業活動は顧客の厚い信用に応えるために、ネットワークや縁者を活用しての紹介契約、フットワークの良さや高い信頼度を武器に展開されています。ホンマ電機は約6~7年前より同社のビル管理業務の電気関係に携わっています。弊社の機動性を買って頂いているようです。



オフィス風景



同社の取得した数々の資格や免許証



社員を指導する